

平成23年度 那須塩原市工事成績評定結果概要

1. 件数

那須塩原市として契約検査課が検査を実施した平成23年度の建設工事（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）は262件である。特に舗装工事については東日本大震災による災害復旧工事等の影響により件数が増加している。

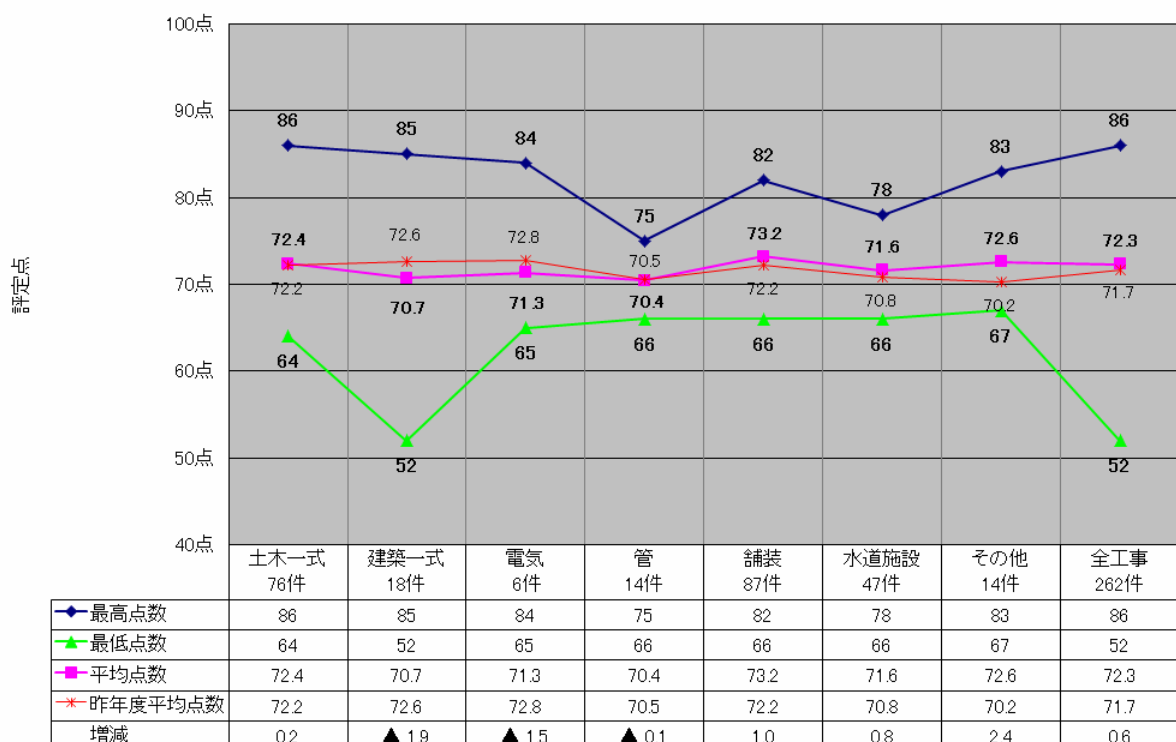
工種別	件数	※前年度件数	増減
土木一式工事	76	63	13
建築一式工事	18	24	▲6
電気工事	6	16	▲10
管工事	14	16	▲2
舗装工事	87	43	44
水道施設工事	47	53	▲6
その他工事	14	13	1
計	262	228	34

2. 評定点

平成23年度に検査実施した全工事の平均評定点は72.3点である（図1参照）。工種別に見てみると、建築一式、電気、管工事が前年度の平均評定点を下回ったものの、全体での平均評定点は前年度を上回る結果となった。

ただし、平成23年度から工事成績評定が改定されており、前年度との比較についてはあくまでも参考として捉えるべきである。

図1. 工事成績評定結果（工種別）



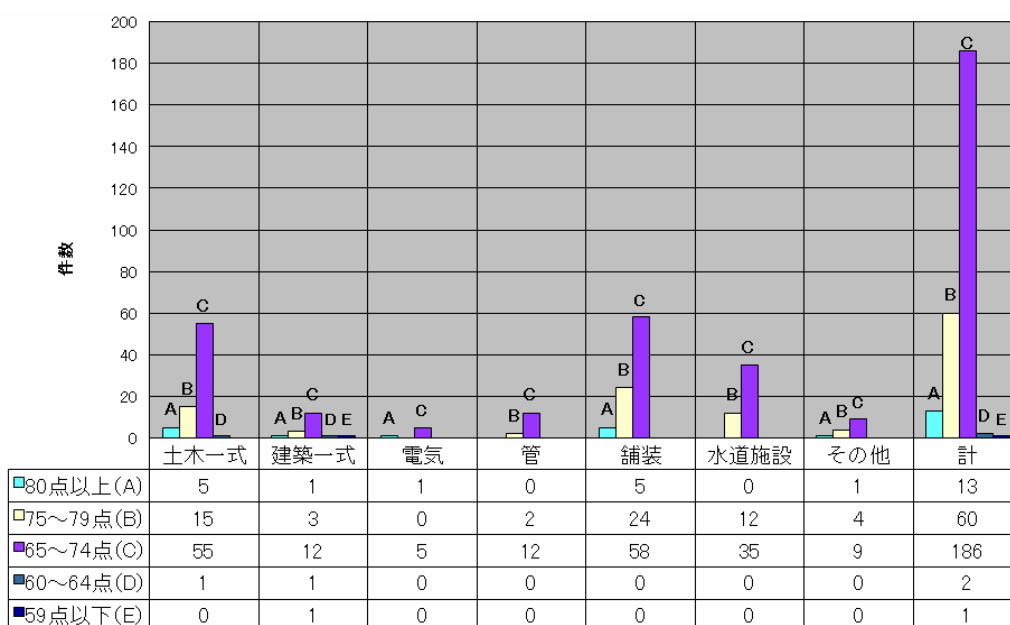
3. 総合評価

検査した工事を総合評価別に分類した場合のA、B、C、D、E工事の件数は、それぞれ13件、60件、186件、2件、1件である（図2参照）。

他の模範となる優秀な工事（80点以上：A）については、前年度は17件(7.4%)であったが、平成23年度は13件(4.9%)となり、件数及び割合ともに減少している。

ただし、標準的工事の中で優秀なもの（75～79点：B）の件数及び割合と合わせて考えると前年の63件(27.6%)から73件(27.8%)と優秀な工事の割合は変化しておらず、工事成績評定の改定により評価がさらに峻別された結果とも取れる。改善すべき事項がある工事（60～64点：D）及び指名等に影響を及ぼす恐れのある工事（59点以下：E）の件数及び割合は減少しており、良い傾向にあるといえる。

図2. 工事成績評定結果（工種別総合評価）



総合評価の標準

ランク	評定点の標準値	総合評価の標準	
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事	
B	75～79点	標準的工事	Aランクではないが、標準的工事の中で優秀なもの
C	65～74点		標準的な工事
D	60～64点		Eランクではないが、今後改善すべき事項がある工事
E	59点以下	今後指名等に影響を及ぼす恐れのある工事	